

【オフィス】

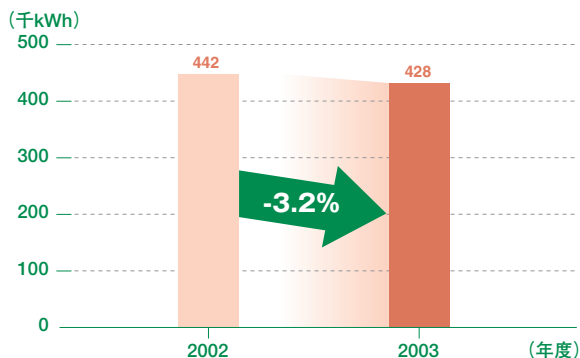
■地球温暖化防止と省エネルギー

日々の省エネルギー活動を実践しています。

本社ではフロアの室温調整、ノーネクタイ運動や昼休みの消灯、廊下の減灯など、省エネルギー活動を行っています。
本社の電力消費量は2003年度は、2002年度比で約3%の削減を達成しました。

参照 ▶ データブック p10

■ オフィス（本社）での電力使用



■資源の有効利用

ペーパーレス化や分別の徹底で紙資源を有効活用しています。

▶ ペーパーレス化

コスモ石油グループでは、業務の効率化と紙資源の有効活用の観点から、各種帳票の見直し、帳票の電子化により、ペーパーレス化を図ってきました。この結果、2003年度は、電算帳票類を2002年度比で33.3%削減しました。

▶ ごみ分別の徹底

本社のオフィスから出る紙ごみについては、各フロアに「リサイクルボックス」を設置し、分別の徹底を図っています。
各フロアのごみ箱を減らし、クリーンコーナーを新設して他のごみ類も含めると20分別を実施し、廃棄物の減量、再資源化を推進しています。



本社のクリーンコーナー

▶ 紙ごみの再生利用

本社の紙ごみは、「上質紙」「封筒類」「新聞」「雑誌」に分類し、集積所に集めています。
集まった古紙は、リサイクル業者により回収され、再生紙の原料となっています。
当社の2003年版環境報告書やカレンダーは、本社から出た古紙を含む再生紙を利用して作成しました。

また、メモ用紙や付箋などのミックスペーパーも回収し、その一部を本社社屋のトイレ用ペーパーとして再生利用しています。
そのほか、4製油所の事務所でも古紙回収を行っており、2003年度古紙回収量(4製油所合計)は、約93トンとなっています。

本社のリサイクルボックス



本社の紙ごみは分類され、集積室に集められます。

リサイクル業者による回収



リサイクル業者により回収されます。

再生された紙製品



製紙工場に運ばれ、ティッシュペーパーなどの原料となります。

2003年版環境報告書



2003年版環境報告書やカレンダーとして再生利用されています。

参照 ▶ データブック p30